

本社調査
2020年度

都道府県観光予算アンケート

③ 関西

京都府

【当初 観光予算】

3,754,670千円 (前年度比86.7%)

▷上記予算額には、DMOが実施する事業費を含む

【予算額上位】

- ①「お茶の京都」事業(1,250,192千円)
- ②「森の京都」事業(970,057千円)
- ③「海の京都」事業(724,025千円)
- ④インバウンド対策強化事業(92,598千円)
- ⑤京都府観光連盟等育成事業(68,543千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 京都府観光連盟等育成事業(68,543千円)
 - 大河ドラマ広域連携事業(5,000千円)
- インバウンド誘客促進
 - インバウンド対策強化事業(92,598千円)
 - 「もうひとつの京都」情報発信事業(9,838千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
 - 「食の京都」推進事業(26,700千円)
 - 文化財活用支援事業(4,000千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
 - 海・森・お茶の京都事業(2,944,274千円)
 - 京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト事業(19,094千円)

◆◆新型コロナウイルス対策の主要観光関係事業◆◆

- 観光事業者件数型緊急支援事業(4月補正/156,000千円)
- 「もうひとつの京都」観光誘客事業(6月補正/100,000千円)
- W I T H コロナ社会京都観光発信事業(6月補正/60,000千円)

滋賀県

【当初 観光予算】

745,473千円 (前年度比109%)

【予算額上位】

- ①ここ滋賀推進事業(196,863千円)
- ②県域観光物産振興組織事業推進費(180,280千円)
- ③「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光P R推進事業(105,900千円)
- ④滋賀県観光周遊促進事業(77,949千円)
- ⑤国際観光推進事業(47,039千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光P R推進事業(105,900千円)
 - ピワイチ観光推進事業(26,720千円)
- インバウンド誘客促進
 - 国際観光推進事業(47,039千円)
 - ピワイチ観光推進事業(26,720千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
 - 滋賀県観光周遊促進事業(77,949千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
 - 県域観光物産振興組織事業推進費(180,280千円)
 - 観光人材育成等地域支援事業(10,520千円)

◆◆新型コロナウイルス対策の主要観光関係事業◆◆

- 旅の土産も思い出に事業(4月補正/132,607千円)
- 滋賀の宿泊施設応援事業(5月補正/105,000千円)
- 物産販売・販路拡大支援事業(5月補正/50,000千円)

兵庫県

【当初 観光予算】

1,020,577千円 (前年度比105.2%)

【予算額上位】

- ①降雪・造雪設備導入への支援事業(100,000千円)
- ②ひょうごツーリズムバス実施事業(45,346千円)
- ③周遊・体験型コンテンツの創出(40,000千円)
- ④「あいたい兵庫」プロモーション事業(40,000千円)
- ⑤神戸ルミナリエ開催事業(35,300千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 周遊・体験型コンテンツの創出(40,000千円)
 - ひょうごロケ支援Net事業(2,191千円)
- インバウンド誘客促進
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は国内向けの観光需要喚起策に注力
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
 - 観光地魅力度調査の実施(3,000千円)
 - ひょうごの魅力を紹介するPR動画の制作(5,000千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
 - 「ひょうご観光塾」の開催(1,000千円)

◆◆新型コロナウイルス対策の主要観光関係事業◆◆

- 宿泊施設における感染防止対策のための設備整備助成事業(6月補正/169,000千円)
- 「Welcome to Hyogoキャンペーン」宿泊割引支援事業(7月補正案/100,000千円)
- 宿泊に伴うおみやげ購入券発行事業(4月補正/495,000千円)
- 兵庫の特産品購入促進事業(4月補正/100,000千円)
- コンベンションの開催支援事業(6月補正/117,000千円)

大阪府

【当初 観光予算】

1,894,576千円 (前年度比110%)

▷当初予算の事業は、大幅な見直しの可能性がある

【予算額上位】

- ①大阪観光局運営事業 ※国内外プロモーション、大阪版DMO(275,000千円)
- ②水と光とみどりのまちづくり推進事業(542,895千円)
- ③ナイトカルチャー魅力創出事業(287,057千円)
- ④天保山ターミナル整備事業(131,000千円)
- ⑤ -

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 大阪観光局運営事業※(275,000千円)
 - 水と光とみどりのまちづくり推進事業(542,895千円)
- インバウンド誘客促進
 - 大阪観光局運営事業※(275,000千円)
 - ナイトカルチャー魅力創出事業(287,057千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
 - 大阪観光局運営事業※(275,000千円)
 - 民泊対策推進事業費(57,671千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
 - 大阪観光局運営事業※(275,000千円)

◆◆新型コロナウイルス対策の主要観光関係事業◆◆

- ▷以下の事業以外にも実施の可能性がある
- 「大阪の人・関西の人 いらっしゃい！」キャンペーン(5号補正/29,000千円 = 大阪市と折半後の額を記載)

和歌山県

【当初 観光予算】

696,717千円 (前年度比102%)

【予算額上位】

- ①わかやま「観光力」推進事業(181,293千円)
- ②観光客誘致対策事業(105,905千円)
- ③国際観光推進事業(70,872千円)
- ④外国人観光客受入環境整備事業(49,053千円)
- ⑤わかやま歴史物語事業(34,828千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - わかやま「観光力」推進事業(181,293千円)
 - 観光客誘致対策事業(105,905千円)
- インバウンド誘客促進
 - 国際観光推進事業(70,872千円)
 - 外国人観光客受入環境整備事業(49,053千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
 - わかやま歴史物語事業(34,828千円)
 - 水の国、わかやま、事業(27,000千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
 - サイクリング王国わかやま事業(26,000千円)

◆◆新型コロナウイルス対策の主要観光関係事業◆◆

- 県民リフレッシュプラン販売促進事業(6月補正/350,000千円)
- 和歌山県観光客あんしん受入環境整備事業(6月追加補正/500,000千円)

奈良県

【当初 観光予算】

1,917,176千円 (前年度比146%)

▷予算の増加要因は、観光担当部課の再編による施設管理・運営費の増など

【予算額上位】

- ①奈良県観光キャンペーン事業(260,000千円)
- ②奈良県外国人観光客交流館運営事業(189,000千円)
- ③まほろば館移転事業(167,904千円)
- ④奈良県コンベンションセンター管理・運営事業(138,398千円)
- ⑤奈良県ビジュアルスビューロー活動支援事業(107,245千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 奈良県観光キャンペーン事業(260,000千円)
 - うまし奈良めぐり推進事業(29,000千円)
 - 奈良まほろば館情報発信事業(6,792千円)
- インバウンド誘客促進
 - インバウンド観光戦略推進事業(18,000千円)
 - 欧米豪マーケティングエージェンシー連携事業(10,000千円)
 - SNSによる「知られざる奈良の魅力」海外発信事業(10,000千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備
 - 魅力ある観光地づくり推進補助金(50,000千円)
 - 奈良県多言語コールセンター運営事業(4,566千円)
- 観光産業の振興、人材育成、DMO推進
 - M I C E 誘致推進事業(14,500千円)
 - ホテル誘致推進事業(1,000千円)
 - 奈良県地域通訳案内士育成事業(2,600千円)

◆◆新型コロナウイルス対策の主要観光関係事業◆◆

- 県内宿泊キャンペーン事業(6月補正/500,000千円)
- 新型コロナウイルス観光振興補助金事業(6月補正/100,000千円)
- 国内誘客促進強化事業(6月補正/100,000千円)

2020年度当初観光予算

新型コロナウイルス対策 観光関係補正予算

本社アンケート調査

観光経済新聞社は、47都道府県の観光担当部課を対象に、2020年度当初予算の観光予算額についてアンケート調査を実施した。地方ブロックごとに回答結果を紹介する企画の2回目は、関西・北陸信越・中部15府県を掲載する。20年度当初予算の観光予算額は、15府県のうち11府県が前年度額を上回った。当初予算のほか、新型コロナウイルス感染症への対策に関する観光関連の補正予算についても聞いた。

20年度当初予算の観光予算額は、各自治体の観光担当部課に計上する金額は、各自治体の観光担当部課に計上した予算額について回答を求めた結果、前年度との比較などには注釈が必要だが、職員の給与は除外して回答してもらった。調査票は6月に発送し、6月末までを回答の期限としたが、補正予算の審議などの関係で期限を延ばした自治体もある。観光予算は自治体によって異なるが、自治体別の各表のうち、策の主要観光関係事業は、「新型コロナウイルス対策の主要観光関係事業」の中、当初予算の観光予算額の中で金額の大きい上位5つの事業についての回答結果を、分野別主要事業の項目として掲載する。外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

「新型コロナウイルス対策の主要観光関係事業」は、観光関連事業者に対し、支援制度を紹介するなどの対応に計上した観光振興、観光産業関係の事業について回答してもらった。主な事業の内容は次の通り。

【関西】
滋賀県「旅の土産も思い出に」事業(4月補正/132,607千円)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

大阪府「大阪の人・関西の人 いらっしゃい！」キャンペーン(5号補正/29,000千円)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

兵庫県「あいたい兵庫」プロモーション事業(4月補正/495,000千円)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

和歌山県「わかやま歴史物語」事業(34,828千円)は、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備の分野に属する。

奈良県「まほろば館移転」事業(167,904千円)は、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備の分野に属する。

【北陸信越】
新潟県「県内宿泊需要喚起緊急対策事業」(6月補正)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

石川県「県民向け県内泊」事業(6月補正)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

福井県「県民向け県内泊」事業(6月補正)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

富山県「県民向け県内泊」事業(6月補正)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

岐阜県「安心ステイ」事業(6月補正)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

長野県「長野県民支援」事業(6月補正)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。

静岡県「県民向け県内泊」事業(6月補正)は、外国人旅行誘客促進、観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光産業の振興、人材育成、DMO推進の4分野について主要事業を聞いた。